

名誉市民

上村正子氏 逝去

郷土の医療に尽くされた十日町市名誉市民上村正子氏が、9月28日(木)療養先の上村病院で静かに人生の幕を閉じられました。満93歳でした。



〈略歴〉

昭和13年9月 上村医院開設
昭和25年5月 勸上村病院院長就任
平成2年4月 レインボーヴィラ清津施設長就任
平成8年10月 中里村名誉村民
平成17年4月 十日町市名誉市民

〈叙勲・表彰〉

昭和49年 新潟県知事表彰 (保健衛生功労)
昭和51年 新潟県母子愛育会会長表彰 (母子保健功労)
昭和56年 厚生大臣表彰 (保健衛生功労)
昭和61年 勲5等宝冠賞

先生を偲んで

十日町市長 田口直人

上村正子先生の訃報に接し、悲しみに堪えられません。

先生は、昭和11年に東京女子医学専門学校(現東京女子医科大学)を卒業後、昭和13年に当時病院のなかった中里村に上村医院を開設されました。以来、医師としての高い使命に立ち、生涯を地域医療にささげられました。

大雪の中を徒歩で山間部まで往診し、夜明けに帰宅することもあったとうかがいました。また、「弱い者の味方」として、母子・高齢者などの保健衛生に常に慈しみの心で尽くされました。

円満で温かく寛容な人柄と、時には厳しい指導力を持ち、住民からは「正子先生」と信頼と親しみを持って呼ばれていました。

地域住民の先生に対する尊敬と感謝の念はやむことはありません。残された私たちは、先生が生涯愛された郷土と人々のため、精一杯努力をすることをお誓いいたします。

ここに、謹んで正子先生のごめい福をお祈り申し上げます。

